

# ブルックライン ハイスクール

## 遠隔学習の構成要素

この休校期間のブルックラインハイスクールの取り組みは、より幅広い学区の[遠隔学習の指導原則とガイダンス](#)、および州の[初等中等教育省 \(DESE\) のリモートラーニングの推奨事項](#)に則っています。われわれは少なくとも5月1日（金）まで、場合によっては2019-20年度末までの休校を計画しています。

この期間中のわれわれの基本的な優先事項は、生徒、スタッフ、保護者の健康と安全です。また、学習、教育、サポート、学校については、皆にとって柔軟であるべきで、それぞれに異なる目標があることは認識していますが、生徒とつながり、関わり合う必要もあります。ブルックラインハイスクールの経験を遠隔で再現することは大変難しいですが、私たちはこの休校中、学習、成長、挑戦、およびサポートの機会を提供し続けます。私たち BHS は個別で、そしてグループでの調整を続けている中で、学校における弱みに注意を払う必要があります。それは、私たちが予測できるものと、この危機の中で発生するものです。

### Table of Contents-目次

---

Student Support-生徒へのサポート

Academic Goals and Expectations-学習のゴールと期待値

Credit, Grades, and Grading Timeline-単位、成績、成績評価のタイムライン

Timing Guide for Learning-学習のための時間調整ガイド

School Year Timelines- 本学年度のタイムライン

Athletics-運動競技

Wellness Education-ウェルネス教育

Special Education Supports-スペシャルエデュケーションへのサポート

General Expectations for BHS Educators-BHS の先生方に普遍的に期待されていること

### Student Support -生徒へのサポート

---

BHS スクールコミュニティは、遠隔学習や遠隔で生徒のサポートをする時期であっても、生徒との関係やつながりを維持することを、学習環境において不可欠なものと最優先します。このパンデミックはわれわれのストレスレベル、忍耐力、および強さという点で、すべてのコミュニティメンバー（生徒、スタッフ、家庭）に挑戦しています。すべての BHS の生徒が学習を続けるための基盤は、身体的および精神的に安全であると感じることと、彼らの人生にとって重要な大人とのつながりがあることです。

この目的のために、BHS 生徒サポートチームは毎週集まり、コミュニケーション、調整、ブレインストーミングを行い、この間、生徒、教師、管理者が互いにどのように連携するのが最善かを話し合っております。この生徒サポートチームには、ガイダンスカウンセラー、ソーシャルワーカー、学部長およびプログラムコーディネーター、BRYT スタッフ、METCO およびステップ・サクセスアドバイザー、スクールカウンセラー、スクールナースが含まれます。われわれは、精神面・学術面での充足と同じくらい基本的なニーズ（住居、食事、安全面）が懸念されている生徒へ、カウンセラーと学生部

長が窓口を務める、階層的な生徒へのサポートの仕組みを利用します。各生徒のサポートチームに関する情報は、[Aspen / X2 Parent Portal](#)にあります。

現時点において、BHS の学生サポートチームは以下のように従事しています。

- COVID-19 の休校が開始されてから学校と連絡をとっていない BHS の生徒を特定し、つながりとサポートのために手を差し伸べる
- BHS クライシスチームとして動き、BHS コミュニティ全体に対する COVID-19 の範囲と影響を調べ、多岐にわたる適切な対応の準備をする
- 休校中も、メール・電話またはバーチャル・遠隔医療チェックインを介してすべての生徒と連絡を取り続け、サポートし、必要に応じて定期的な連絡をする
- この休校期間中、生徒の保護者に連絡して同意を得たり、コミュニケーションを共有することを重視する
- 不安、うつ病、または特殊な状況下で学業に苦勞している学生を見つけ出し、つながり、支援する
- 必要に応じて、生徒とその保護者に、可能な場合はより集中的な介入のためより高いレベルでの BHS 階層型サポート、またはブルックラインやボストン地域のサポートリソースからアドバイスを得たり紹介したりする
- 生徒や家族が自身でアクセスできるように、[ブルックライン地域のリソースツールボックス \(Important Social/emotional Resources for Students and Families\)](#) を引き続き提供する (BHS / PSB ウェブサイト上の現在のリソースリストよりも簡単にアクセスできます)。

BHS の生徒サポートスタッフは、遠く離れていても、これまでと同じように細心の注意を払って、すべての生徒のために働いています。生徒や家族が一人で心配したり、がんばり過ぎたりしてはいけません。

### **Academic Goals and Expectations-学習のゴールと期待値**

マサチューセッツ州は州の学校に、生徒の時間と成果に対する目標を、学校が通常の授業を行っている場合の約半分にするよう推奨しました。教師は、州の推奨事項を念頭に置いて、教師主導と生徒主導の両方の学習体験を提供します。

- 最も重要な成果は、生徒が教師から気にかけてもらい、サポートしてもらっていると感じ、毎日一定の時間学習活動に有意義に従事することです。
- 教師はすべての科目で学術的な取り組みとつながりを提供し、生徒に刺激的で意欲的な課題を提供します。課題は通常の方法での採点はされませんが、生徒は教師からフィードバックやコメントを受け取ります。
- 1 教科あたり、1 週間で約 2.5～3 時間必要です。生徒がその時間を超えてまで宿題をやることは期待されていません。またこれらは概算であることに注意してください。生徒は個々のペースで学習します。
- 生徒は United Mind Workers (UMW) ページをリソースの中心的なランディングスポットとして使用し、すでに使われている学習プラットフォーム (Canvas、Google Meet、Zoom など) の使用については教師に確認する必要があります。

- [不正行為および盗用](#)に関するブルックラインハイスクールの校則が引き続き適用されます。学校は、不正行為や盗作のために提出されたすべての作業を調査するオンラインプログラム (turnitin.com) を稼働させています。自分の課題は自分でやり遂げてください。
- 毎週の課題は以下のようにあるべきとされます。
  - 週の初め、またはそれ以前に生徒がアクセスできるようにする。必要に応じて、資料は週ごとに配布される。
  - 特定の課題を含める。この課題の一部には、これまでの学習内容を深める、新しい学習を紹介する、または継続的な学習のために復習をする機会を提供するなどのオプションがある。

## Credit, Grades, and Grading Timeline-単位、成績、成績評価のタイムライン

---

### 単位と成績評価

- 目標は、生徒に可能な限り年間の単位を取得させ、この困難で激動な現在の状況下で生徒をサポートすることです。すべての生徒が学習にアクセスできる必要があります。
- 2019~20 学年度の学年は 3 期あります：第一四半期 (Q1)、第二四半期 (Q2)、および 2 学期 (S2) (第三、または第四四半期はありません)。2 学期は、1 月 31 日から学年末までの期間を指します。
- 第一四半期 (Q1)、第二四半期 (Q2) の成績はレターグレード (注：学業成績を A、B、C などの文字で表す方式) となります。
- 2 学期 (S2) の成績は合否のみで評価されます。

### 通年クラスの最終成績

- 最終評価は、以下のようにレターグレード (A、B、C)、P (合格)、または F (不合格) のいずれかです。
- シナリオ 1: S2 の成績が合格で、1 学期 (S1) の成績が A、B、または C の場合、最終成績は Q1 と Q2 の平均となります。
  - 成績が生徒の総合成績に使われる場合、教師は生徒の最終成績で 1 月 31 日から 3 月 12 日までの主要な課題と評価の成績 (または 3 月 12 日以降に提出された課題や再提出物) が考慮されます。
- シナリオ 2: 生徒が A、B、C、または D の成績で S1 で合格し、S2 でクラスに不合格の場合、評価判断過程では、生徒がその教科で合格点ではなかった理由が調査され、成績や単位が決定されます。これは、生徒が自分の状況をしっかりと考えるための、あらゆる機会を確保するためです。
- シナリオ 3: S1 の成績が D または E で、S2 の成績が合格の場合、最終成績は P (合格) です。
- シナリオ 4: S2 の成績が不合格で、S1 の成績が E の場合、最終成績は F (不合格) になります。

通年クラスの成績評価例			
	S 1	S 2	最終成績
シナリオ 1	A, B, C	合格	Q1 と Q2 の平均に基づく A～F 成績評価。 最終成績に使われる場合は、1/31～3/12 の ものが考慮されます。
シナリオ 2	A, B, C, D	不合格	自動的な成績評価プロセスにより、最終的な 成績・単位が決定されます。
シナリオ 3	D または E	合格	合格
シナリオ 4	E	不合格	不合格

### 最終試験

- DESE からの詳細情報により、期末試験はキャンセルされる可能性があります。学校が再開し、期末試験が実施された場合、生徒は調整された試験を受けることとなります。休校期間中は遠隔学習に対する期末試験はありません。

### 一学期間にわたるコース

休校期間の延長は、一学期間にわたるコースについては、生徒に明らかに影響を与えることが認識されています。新しい課程で最初の数週間にあった盛り上がりは、突然の休校と遠隔学習への移行によってくじかれ、そして作業場、スタジオ、またはパフォーマンススペースでの授業は再現することができません。教師は引き続きカリキュラムを改善し、すべての生徒にやりがいのある有意義な学習経験を提供するために従事しています。

上記の理由によりわれわれは以下のように行動します。

- すべての学期の学科に合格/不合格の採点システムを使用して、閉校前に完了しなかった作業を柔軟に構成および修正できるようにします。
- 今学期の課程を修了した生徒は、一連の課程の次のレベルに進むか、または今年度以降、現在履修登録しているコースを再受講することができます
  - 例：現在 Woodworking I に登録している学生は、リモートラーニングでは利用できなかった道具や機器を実際に使ってみたい場合は、来年 Woodworking II に進むか、Woodworking I に再登録して単位を取得することができます。
- 2021～2022 年度のレベル II クラスのカリキュラムを調整して、レベル I クラスに現在登録している生徒がレベル II クラスでの成功するために必要なスキルを習得できるようにします。

### Timing Guide for Learning -学習のための時間調整ガイド

ブルックラインハイスクールの教員は、タイミングガイドを使用して、他の教科との重複を回避するために生徒たちの授業時間を調整しています。このツールを改善するためにフィードバックを利用しています。以下に、DESE が推奨する遠隔学習プランの幅広い構成要素を共有します。

- 個々の学区と個々の生徒への柔軟さが必要であることを認識し、遠隔学習の次の手順と構造が適用されることが推奨されます。
- 1週間に複数回、1人以上の教育者とつながる機会；障がいのある生徒や英語学習者など、学習へのハードルが高い生徒の場合、教師とつながる機会が追加されることが推奨されます。
- 教師が指導する1日あたり数時間の学習コンテンツへのアクセス；これは、今学年度ですでに教えられた学習スキルの強化と、課程に必要な新しい学習コンテンツとのバランスに焦点を当てる必要があります。
- 教育者からの推奨事項に基づいた、毎日の運動時間。
- 芸術（ダンス、メディアアート、音楽、演劇、視覚芸術）などの毎日の充実した活動のための追加時間。

### School Year Timelines 本学年度のタイムライン

---

この激変している状況下では、長期的な計画を立てることは困難でした。今後、州や学区からさらに多くの指導を受けることが考えられますが、以下に現時点で共有できるタイムラインを示します。特に重要なのは、この休校時に卒業をどう祝うかということです。

- 学区は、学校の最終日は6月23日（火）になるとしています。
- 4月6日（火）、学校教育委員会は4月の休暇を取り消すかどうか投票しました。パトリオットデー（4月20日（月））は州の休日であり、遠隔学習は4月21日（火）から4月24日（金）まで行われます。
- この遠隔学習時間中のフィードバックは特に重要です。生徒と保護者は、4月30日（木）に中間進捗レポートにアクセスできます。
- DESE より、最終日のシニアのガイダンスが提示される予定です。
- 卒業はこれまで通り6月7日（日）の予定です。

### Athletics- 運動競技

---

今年度は学校が再開されない可能性はありますが、マサチューセッツ州学校対抗運動競技協会（MIAA）に参加して、学生アスリートが5月上旬に春のシーズンを開始できるように計画しています。現在のMIAA計画は次の通りです。

- 春季のスポーツは5月4日（月）に開始する。
- チームはプレシーズンの準備を7日間行う。
- 各競技会は6/27（土）までに終了し、悪天候の場合は6/28（日）に順延される可能性がある。

一部の学生アスリートは、BHS アスレチックチームへの参加を利用してウェルネスエデュケーションの単位を取得しています。学生アスリートが春の運動競技に参加する代わりに、この単位取得要件を満たすために必要なことについては、次のセクションを参照してください。

### Wellness Education ウェルネス教育

---

生徒の健康とウェルネスは、この世界的なパンデミックにおいて非常に重要です。私たちは、生徒達が自分の優先順位と経験を思い出し、ウェルネス教育クラスで単位を取得する機会を得るために、定期的に運動することを望んでいます。

- 第2学期のHealth and Fitnessクラスを受講する9年生はこれを継続する。

- 10年生から12年生のライフタイムアクティビティクラスには、ウェルネス教育の教師からの一連の考察&プロジェクトの課題があり、春学期の単位を取得するためにこれを完了する必要がある。
- 春季陸上競技チームの10年生から12年生の生徒も、一連の考察&観察の課題を完了する必要があります。この詳細はCanvas経由で告知される。

### **Special Education Supports** スペシャルエデュケーションへのサポート

障がいを抱える生徒は、国や州で緊急事態が宣言されている場合でも、自由で適切な公教育（FAPE）を受けることができます。ただし、FAPEの規定によると「障がいを抱える生徒と、これらの生徒に教育、専門的な指導、および関連サービスを提供する人の健康と安全を保護する必要性とが一致している必要があり、COVID-19が引き続き感染拡大し、スタッフとその家族の健康と安全に『影響』することにより、サービスが影響を受ける可能性があります。」<sup>1</sup>となっています。

生徒や家族とコミュニケーションをとり、この困難な時期における学校との継続的なつながりをもつことは、私たちにとって最も重要です。スペシャルエデュケーションの教師はすでに生徒と連絡をとっており、保護者や介護者と継続的な学習、学習計画、およびその他のサポートサービスを提供する方法について話し合っています。彼らは、関連するサービス提供者、一般の先生方、生徒をサポートする他の人々と協力して、活動や資料の推奨事項が適切でアクセス可能であることを確認しています。実施上で配慮すべき点と法律と既存の指導要綱に照らし、安全で実現可能な範囲で、休校中に生徒に特別な教育サポートやサービスを提供し、便宜を図り、調整を行います。

今回の緊急事態では、生徒が過去に受けたのと同じようなサービスを提供することはできません。私たちは、生徒、先生、家族と協力して最善を尽くします。学校の休校期間中もコラボレーションは継続されます。いつものように、質問や不明な点がありましたら、お気軽に生徒の連絡係や評価チームファシリテーター（ETF）にお問い合わせください。私たちはあなたのためにここにいます。そしてあなたをサポートしたいと思っています。

### **General Expectations for BHS Educators- BHSの先生方に普遍的な目標**

先生方とスタッフは、ブルックラインハイスクールの最も重要な仕事を続けています。これらは、この前例のない学校休校期間中にすべての生徒とスタッフをサポートするためにスタッフと共有された目標と指導内容です。

- 他の人のための責任を果たす前に、あなたの健康と家族の健康を考えてください。
- わかりやすい、生徒がアクセス可能なプラットフォームを介して、週に2回以上（この回数は生徒自身が教える）生徒とつながる。
- 学習機会や、学習に従事したり、充実したものにするためのリソースの開発に貢献します。教師はPSB対応プラットフォームとBHS [United Mind Workers](#)サイトを介して毎週教育リソースを更新します。
- 定期的に部門やチームの会議に出席するなど、必要に応じてスタッフ、先生、学校管理者、PSB管理者と協力していきます。
- スタッフ、生徒、家族からのメールを毎日モニターし、タイムリーに返信します。

<sup>1</sup> "Coronavirus COVID-19 Guidance for Schools and Districts Regarding Special Education," Stoneman, Chandler & Miller, LLP, April, 2020. (コロナウイルス COVID-19のスペシャルエデュケーションに関する学校と学区のためのガイダンス)

- PSB がサポートする電子通信アカウントと会議サービス、または学校時間中に教師が希望する形式の通信を通じて、スタッフ、生徒、および家族がアクセスできるようにします。
- 生徒の個別教育計画（Individualized Educational Plans）を確認し、必要に応じて生徒の適応について適切な教育者、専門家、家族に相談します。

これらの目的を達成するために、スタッフに以下の指標を提供しました。

- 関係性に優先順位を付け、教師とクラスとがつながるための手段を確立します。
- 生徒は、毎週の課題と目標について、各教師から毎週連絡を受ける必要があります。
- 関連するスタッフ（例：教室のパラプロフェSSIONナル、一般教育、特殊教育、ELL の教師、スペシャリスト達）と相談し、計画を立てます。また、ELL の教師とスペシャルエデュケーションの教師には、教育的責任があることを理解します。
- 生徒がアクティビティを通じて定期的な練習と探索に従事できるように課題を設計します。
- メディア、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングのスキルを多面的なレッスンに統合することにより、批判的思考を育みます。